

4 読書会用文庫

生涯学習時代を迎え、図書館・公民館及び学校活動の一環として各地に読書会が誕生している現状にある。

当館では、それら読書会用として幅広くテキストを備え援助を行った。また、読書会の運営等に関する相談にも応えた。

平成2年度の利用状況は、登録団体18、貸出タイトル242、貸出は1,040冊であった。

5 普及事業

(1) 第38回福島県図書館大会

- ・期 日 平成2年11月14日～15日
- ・会 場 郡山ユラックス熱海
- ・参加者 公共図書館・公民館・社会教育関係職員、
図書館協議会・公民館運営審議会委員、図
書館利用者、各種文庫関係者、読書グルー
プの会員 370名
- ・講 演 歴史をさわがせた女たち
作家 永井路子
- ・意見発表 <図書館の部>
コンピュータと図書館運営
矢吹町図書館長 鈴木淳永
<公民館図書室の部>
図書館オープンに向けて
埴町公民館副館長 近藤真敏
<利用者の部>
文庫活動をとおして感じたことと思うこと
郡山市二葉文庫 長林かよ子
- ・分科会 <図書館の部>
現代社会の要請に応える図書館奉仕のあり
方
司会者 船引町図書館長 橋本裕子
助言者 福島県立図書館調査課長
菅野孝吉
<公民館図書室の部>
公民館図書室における奉仕のあり方
司会者 会津坂下町公民館長 桑原脩
助言者 県教育庁社会教育課主幹
七島征
<利用者の部>
子どもの読書を考える
司会者 郡山こどもの本をひろめる会
伊藤祥子
助言者 県中教育事務所社会教育主事
円谷博
- ・全体討議
議 長 会津若松市立会津図書館長
竹内章

(2) 読書活動指導者養成講座

- ・テーマ ヤングアダルトと読書
- ・期 日 平成2年11月29日
- ・会 場 郡山市図書館

- ・参加者 公共図書館・公民館職員、社会教育関係者、
文庫世話人、一般 67名
- ・講 師 東京都立工業高等専門学校主査司書
半田雄二

(3) 子どもの本研究講習会

- ・テーマ 感じる世界と私の仕事
- ・期 日 平成2年7月14日
- ・会 場 郡山市図書館
- ・参加者 公共図書館・公民館職員、社会教育関係者、
文庫世話人、一般 120名
- ・講 師 画家 かずや昌宏

6 広報資料の発行

(1) 館報「あづま」

第41巻第1号～第2号（通巻230～231号）を発行し、市町村教育委員会、図書館、公民館等に配付した。

発行部数 1,500部

(2) 平成2年度版福島県公共図書館・公民館図書室実態調査

県内公共図書館・公民館図書室の実態を把握し、図書館活動の振興に資するため、昭和54年度から毎年実施し、報告書にまとめ、県内市町村教育委員会、図書館、公民館等に配付した。

発行部数 250部

平成2年4月1日現在の調査結果の主要な点をあげると、市町村図書館と公民館図書室を合わせた蔵書冊数は、2,607,413冊で、県民1人当たり1.25冊（前年度1.17冊）、年間増加蔵書冊数は、157,598冊である。

また、平成元年度中の貸出図書冊数は、3,435,017冊（県民1人当たり1.64冊）であり、前年度と比べると総冊数では51,883冊増であった。

(3) 福島県郷土資料情報

新着郷土資料の情報として、第13～15号を発行し、県内図書館、公民館等に配付した。

発行部数 300部

第5節 図書館協力

1 相互貸借

県内図書館間の相互貸借は、「福島県立図書館における相互協力のための資料貸出要綱」ならびに「福島県公共図書館協会における相互協力のための資料貸出規程」に従って行った。また、県外に対しては、「北日本図書館連盟図書館資料相互貸借規程」等に従った。